

学びのドリームプラン 海田東小学校

第4学年1組 国語科
 単元名：みんなで紡ぐ ひまわり連詩
 教材文「言葉をつなげて」

指導者 保田 典子

児童の願い

多くの人に町花「ひまわり」に親しんでもらうため、体験を生かし、「ひまわり」を題材とした連詩をつくりたい。



ゴール

町花「ひまわり」を活用した活動の体験を生かし、「ひまわり」を題材とした連詩を創作し、詩集にまとめる。

本単元で付けたい力

- 詩を書くための題材について想像を広げ、関連のある言葉を集めることができる。 【書くこと ア】
- 書いた詩を読み合い、書き手の表現の工夫や想像したこと、思いについて交流することができる。 【書くこと カ】

言語活動

海田町の町花「ひまわり」を題材とした連詩を創作する。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	・活動の体験を生かし、想像を広げながら、連詩をつくることに意欲をもって取り組もうとしている。	・活動の体験を生かし、連詩をつくることに意欲をもって取り組もうとしている。
【思考力】	・詩の題材から想像を広げて考えたり、全体を通して、各連を関連付けながら、表現の工夫や書き手の思いについて考えたりしている。	・詩の題材から想像を広げて考えたり、連と連を関連付けながら、表現の工夫や書き手の思いについて考えたりしている。
【自己理解】	・体験したことを、友達と協働して詩に表現する活動を通して、考えや思いを表現し伝えることの楽しさや喜び、自己の成長に気付き、次の学習へ学びをつなげようとしている。	・体験したことを、友達と協働して詩に表現する活動を通して、考えや思いを表現し伝えることの楽しさや喜びに気付いている。

「課題発見・解決学習」の過程(全9時間)

学 習 活 動	育成したい資質・能力
総合的な学習の時間 「みんな大好き 海田の自然」 ○町花「ひまわり」を活用した活動を行う。 ・地域の方や保護者など町の人に「ひまわり」に親しんでもらえるような活動を行う。	
国語科 「詩を読もう」 ○詩に書かれている場面の様子や人物の気持ちを想像して、詩を音読する。 ・言葉の響きやリズムを味わったり、詩に書かれている場面の様子や作者の思いを想像したりし、工夫して音読する。	詩集の並行読書
課題の設定(2) ○町花「ひまわり」を活用した活動の体験を生かし、連詩をつくりたいという意欲をもつ。 ・創作体験から、連詩をつくることの楽しさを味わい、「ひまわり」を題材とした連詩を創作して詩集にまとめるという学習課題を設定する。 ・ゴールの見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。	主体性

学 習 活 動		育成したい 資質・能力
情報の収集・整理・分析（３） ○連詩の特徴をとらえる。② ・グループで創作体験をし、これまでに学習してきた詩との違いを考える。 ・共通の連から続きの連を創作し、比較することを通して、連のつながりや題との関連からよりよい表現の工夫について多面的に考える。	詩集の 並行読書	思考力
○体験したことを想起し、言葉集めをする。 ・総合的な学習の時間の活動を基にし、「ひまわり」を題材として想像を広げたことを付箋に書き出し、イメージマップにまとめ、グループで交流する。		思考力
まとめ・創造・表現（２） ○題材「ひまわり」に即して、友達が書いた連につなげ、連詩を創作する。 ・題材に合う言葉を選び、前の連とのつながりや題材との関連を考え、表現を工夫して連詩を書く。 ・創作した連詩を読み、題を考える。		思考力
振り返り（２） ○創作した連詩を読み合い、交流する。 ・作品を読み合い、友達の表現の工夫を見付けたり、思いについて考えたりする。【本時】		思考力
総合的な学習の時間 「みんな大好き 海田の自然」 ○町花「ひまわり」を活用した活動を振り返る。 ・国語科で創作したひまわり連詩を詩集にまとめ、お世話になった地域の人たちに読んでもらい、体験を通して考えたことや思ったことを伝える。		
学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・連詩の創作や地域の人たちからの感想を通して、体験から考えたことや思ったことを表現し伝えることの楽しさや喜びに気付く。 ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点でノートや作品を基に自らの学びを振り返る。		自己理解